

令和7年度不老町地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

地域の現状について

不老町地域ケアプラザは、第一北部地区、第一地区中部、関内地区、埋地地区、石川打越地区の5つの連合町内会地区と寿地区のあわせて6つの圏域を担当しています。

圏域全体の人口は約53,733人で、そのうち0歳～14歳は、3,429人（6.38%）、15歳～64歳は38,231人（71.15%）、65歳以上は12,073人（22.47%）となり、高齢化率は中区全域23.60%を下回っています。

一方で高齢者独居世帯数は市域平均2,007世帯に対し7,680世帯と市域で最も高く、居宅介護サービス利用者数も非常に高くなっていることから、介護を必要とする人のニーズは明らかであり地区別にみると各地区の特徴が窺えます。

第一北部地区

人口9,523人、0歳～14歳が649人（6.82%）15歳～64歳が7,089人（74.44%）65歳～1,785人で高齢化率は18.74%と中区平均に比べ4.86%低くなっています。

野毛山の裾野と大岡川に沿った地域で、赤門町から桜木町駅までの細長い地区です。古くからの商店街があり、人情味ある下町と新しい街並みが融合しているほか、野毛大道芸などのイベントで活気に満ちています。地区の活動は活発で、「町の安全パトロール」などの防犯活動や「高齢者ふれあい給食会」等が開催され、住民主体で活動が行われています。

第一地区中部

人口13,814人、0歳～14歳が812人（5.88%）15歳～64歳が10,475人（75.83%）65歳～2,527人で高齢化率は18.29%と中区平均に比べ5.31%低くなっています。

横浜開港から港に続く散歩道として親しまれる商店街を中心に、様々なイベント等で町は活気にあふれています。外国人が多く暮らしており、国際色豊かな一面もあります。単身世帯が総世帯の7割を占め、単身世帯総数は、中区で一番多くなっています。地域の活動は、「夏休みラジオ体操」「職業体験」などの行事が活発に行われています。

一方で担い手の世代交代は進み、クロスストリートを中心とした住民活動が始まるなど、新しい取り組みが進んでいます。

関内地区

人口7,323人、0歳～14歳が753人（10.28%）15歳～64歳が5,395人（73.67%）65歳～1,175人で高齢化率は16.05%と中区平均に比べ7.55%低くなっています。

横浜開港からの歴史ある街並みが魅力で観光スポットも点在します。官公庁街やオフィス街がある一方で、まちの再開発が進み高層マンションや商業施設が建築され住民が増えています。高齢者の割合は17.1%と区内では一番少なくなっています。

また出生時から住んでいる住民の割合は少なく他の地域から流入してきた住民がほとんどです。

地区の活動は活発で「まちのクリーンアップ大作戦」や「いきいきルンルン」といった催しが継続されているほか、老人クラブ「関内シニアクラブ」が立ち上がるなど、地域に勢いが感じられています。

埋地地区

人口12,418人、0歳～14歳が839人（6.76%）15歳～64歳が9,210人（74.17%）

65歳～2,369人で高齢化率は19.08%と中区平均に比べ4.52%低くなっています。

今から約350年前の干拓事業により埋め立てられた地であることが、名前の由来になっています。集合住宅と商業系ビルが立ち並び、交通の便は良く平地で暮らしやすいまちです。近年、まちの再開発が活発で、横浜BUNTAIの開場や大通り公園再整備事業など、まちの新たな魅力が醸成されようとしています。

また外国人の数は3,647人と区内で一番多くなっています。地域活動は「ラジオ体操」や「埋地さろん」「餅つき大会」「わくわくランド」の開催など、地域活性化に向けた取り組みが幅広く行われています。

石川打越地区

人口4,407人、0歳～14歳が291人（6.60%）15歳～64歳が2,953人（67.01%）

65歳～1,163人で高齢化率は26.39%と中区平均に比べ2.79%高くなっています。

住宅地、商業地として発展してきた地区で、親しみやすい下町風情が感じられます。古くから住んでいる住民が多いこともあり、地域の結びつきが強く町内会と商店会が協力し地域活動が活発に行われています。

また急な勾配の坂が多いこともまちの特徴となっています。地域ではスイーツ会や健康給食会、ふれあいサロンなど、住民活動が盛んに行われています。

寿地区

人口6,248人、0歳～14歳が85人（1.36%）15歳～64歳が3,109人（49.76%）

65歳～3,054人で高齢化率は48.88%と中区平均に比べ25.28%高くなっています。

寿町を含む約0.06km²の範囲に120軒以上の簡易宿泊所が密集している地域で、約5,700人が宿泊しています。高度経済成長期には労働者達の街で賑わいましたが、住民の高齢化とともに福祉ニーズの高い街へと変容しました。高齢化率は50%近くを推移し、類を見ない高齢化が進んでいます。

地域の活動は自治会や地区内の団体が積極的に活動されており「ことぶきゆめ会議」をはじめ「防災訓練」等といった住民支援が行われています。

また寿町健康福祉交流センターなどの公的施設も充実し、町の魅力を発信するほか、町の交流・居場所の拠点としての機能を有しています。

今後に向けて

私たちは魅力ある地域との関係性を最も重要なものと位置づけています。

この「つながり」からみえる各地区の地域特性を踏まえた上で、人と人との交流、商店会や地元で活躍する企業、関係機関などの「人財」と、人々の支え合いや思いやりの力で行われている地域活動による「社会資源」、これら「今ある地域力」を最大限に発揮できるよう、私たちは地域に寄り添っていきます。

☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	ー具体的な取組内容ー
☐	☒	子育て支援について、主任児童委員や関係機関等と協力し、子育て事業の周知を行い理解を得てきます。関係機関と密に情報共有を行い、子ども・養育者の支援に繋げるため、中区子育て支援ネットワークや子ども食堂ネットワーク等の機会、つながりを活用します。必要に応じて企業と協働して取り組みます。障がい者支援についても、各作業所とのネットワーク構築・強化から、強みを活かした協働の継続や、広く地域住民を対象にした事業(地域貢献)を通して、障がいの理解啓発や事業所PRを促進していきます。
☐	☒	「食を通じての地域支援」や自主事業、地域活動において、障がい当事者の社会参加や地域住民との交流機会を継続していきます。誰でも気軽に参加できる事業展開により、多文化多世代交流を促していきます。また、特例子会社の障がい者雇用や、就労移行・継続、自立訓練等事業所の存在、なか国際交流ラウンジの取組みについて周知啓発の機会を創出していきます。これら地域資源の強みを活かした取り組みから、障がいの理解啓発を促していきます。
☒	☐	認知症の本人と共に暮らしやすいまちをつくるために、「チームオレンジ事業」についてリーフレットを用い普及啓発活動をおこないます。ケアマネ向けの認サポを新たな視点で実施、認知症の知識を専門職ならではの視点で深めるための研修をチームオレンジと協働で行います。地域見守り・支え合いの取り組みとして「わんわんオレンジパトロール隊」の発足、参加をつのります。サロンや地域活動に積極的に参加し、地域住民や認知症本人、家族の声をニーズを把握していきます。 地域資源と協働し取組む事業(「つながる！みんなフェス」や「埋地ミニ夏まつり」等)でのCPブースを活用して、5職種で地域向けに広くチームオレンジ事業のPRを行います。またエリア内の就労継続支援事業所と協働し、取組みにおける仲間を増やしていきます。 事業者所属のキャラバンメイトの他に地域住民によるキャラバンメイトを育成し、地域住民サポーターをつくることにより、地域に密着した認知症サポーター養成講座を行います。
☒	☐	中区で開催する在宅医療推進部会等に参画し、区医師会、在宅医療連携拠点等に地域ケアプラザの役割や介護保険制度について説明し、スムーズな連携がおこなえるよう顔の見える関係を構築します。地域で活躍するリハビリ三職種による実際の現場での活動報告やこれからの地域で生かすリハビリについて研修を企画・実施します。(地域、専門職向け) 医療介護連携事業「中区糖尿病多職種協議会」への参加と共同で地域医療の充実の一端を担う協力医に地域の事例や課題をあげて地域相談にご回答いただき、ケアプラザ広報誌などに掲げる「協力医のQAコーナー」を企画します。地域密着型・定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所と協働し、推進会議への参加など資源と地域を結びます。
☒	☐	住民との対話やアンケートなどから把握した地域ニーズを「あったかさろん」などの住民向け講座に反映し、で5職種協働の取り組みとして継続します。ケアプラザの場や関係機関とのネットワークを活かして、多世代(全世代)・多文化交流を促進できる事業を展開します。ICT活用によるハイブリッド型事業の企画検討やQRコードでの申込み、アンケートを実施していきます。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
令和7年度は、第4期中区地域福祉保健計画の振り返りと第5期策定を見据え、「住み慣れた街でいつまでも健康で安心して暮らしていただく」ことを目標に地域共生社会の実現、認知症高齢者等の権利擁護を重点課題として取り組みました。地域共生社会の実現では、自治会町内会や国際交流ラウンジ、民間企業などと協働し、「埋地ミニ夏まつり」や「フードパントリー」等の多世代・多文化交流事業を実施しました。また、プロスポーツ団体や民間企業と連携した清掃活動やキッチンカーの誘致など、福祉と企業が一緒に活動できる協働の場を提供しました。 認知症啓発と権利擁護を基盤とした見守りネットワークの構築では、認知症サポーター養成講座や「チームオレンジ」の啓発活動において、薬局、郵便局、警察署等の地域資源と連携し、広範な周知と見守り体制の強化を図りました。「わんわんオレンジパトロール隊」の発足準備においては、新たに就労継続支援事業所などと連携し、地域での見守りネットワークの構築に着手しました。 多職種連携による地域ケアシステム構築のため、新任ケアマネジャー実習や「ケアマネサロン」の開催により、地域内のケアマネジャーとの繋がりを構築し資質向上に努めました。また、医療介護連携においては、糖尿病多職種協議会等への参加や協力医による情報発信、ACP研修の実施を通じて、終末期までを見据えた連携体制を整えました。 今後の課題として、マンション居住者への情報発信化や、活動が固定化している地域資源への運営支援が課題です。また、地域における認知症キャラバンメイトの育成を推進し、より地域に寄り添った支援と見守り体制の充実を目指します。		
☐ 区からのコメント		
自治会町内会や国際交流ラウンジ、民間企業と協働した多世代・多文化交流の場づくりにご尽力いただきました。薬局や警察署等と連携したチームオレンジの啓発や「わんわんオレンジパトロール隊」の発足など、地域資源を生かした見守り体制の構築も心強く思います。また、様々な主体との連携による新たな交流機会の創出や地域のニーズに応じた柔軟な支援、多職種連携も丁寧に進めていただき、ありがとうございます。 今後、区としても6つの地区それぞれの魅力や課題に寄り添いながら、しっかりと伴走していきたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。		

令和7年度不老町地域ケアプラザ事業計画書・報告書（施設運営、介護保険事業）

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について （事故報告、個人情報保護、備品管理簿）
取組計画	公設の施設として、相談者の意思を尊重し、住民・地域団体・事業者に対し、公正・中立な立場で業務にあたる。事業者の選定等にあたっては、一覧表などの資料を活用しながら複数の選択肢があることを提示し、適切な支援・情報提供に取り組む。	個人情報保護やあらゆる事故に対する危機意識を常にもって業務に取り組む。重大な事故に至ってしまう可能性がある事案や一歩手前の事例に対し、ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し業務改善に努める。
実績	特定の立場や利益に偏らず、公平で中立的な判断や行動を行うことを理解し、利用者の意思や人格を尊重し、特定の事業者やサービスに偏らない公正・中立な立場で支援にあたりました。	法令や規範を遵守しながら、事故を未然に防ぐための研修やシミュレーションを実施し、事故防止に取り組みました。 個人情報の収集・利用及びその管理について、「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び法人規定に基づき、個人の権利利益を侵害することのないよう適切な取扱いに取り組みました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用し、目標の達成に取り組んでいけるような計画の作成が実行できている。	「自立支援」を基本に計画を作成し、公的サービスをはじめ、インフォーマルな地域資源を活用した支援に取り組む。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十九号）及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生省告示第二十号）に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者1名 包括兼務職員5名	管理者1名 介護支援専門員3名
契約者数	494人	119人

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	（介護予防）認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の意向を尊重し、安全・安心のサービスに努め、その人らしい「自立」を支援する。		
実施体制	【実施日数】 週7日（年末年始12/29～1/3を除く）	【実施日数】	【実施日数】
	【提供時間】 午前9時30分～午後4時30分	【提供時間】	【提供時間】
利用料金	【定員】 35名	【定員】	【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生省告示第十九号）及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十六号）及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十八号）に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十六号）に基づく金額
	【その他料金】 食材料費 800円	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者1名 相談員兼介護員4名 介護員8名 看護師兼機能訓練指導員7名		
契約者数等	【延べ利用者数】8,912人 【契約者数】87人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

**【参考資料2-1】 令和7年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,069,141		20,069,141	20,699,956	△ 630,815	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	9,800	△ 9,800	
雑入	4,034,000	0	4,034,000	40,150	3,993,850	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	8,400	△ 8,400	
その他	60,000		60,000	31,750	28,250	
介護保険事業より繰入	3,974,000		3,974,000		3,974,000	
その他	△ 2,430,000		△ 2,430,000	△ 147,000	△ 2,283,000	夜間戻入金
収入合計	21,673,141	0	21,673,141	20,602,906	1,070,235	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,233,000	0	13,233,000	12,326,583	906,417	
本俸	9,314,000		9,314,000	10,853,504	△ 1,539,504	
社会保険料	2,480,000		2,480,000	1,263,012	1,216,988	
手当計	1,403,000		1,403,000	45,694	1,357,306	
健康診断費	11,000		11,000	20,452	△ 9,452	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	9,000		9,000	128,096	△ 119,096	
その他	16,000		16,000	15,825	175	
事務費	2,636,000	0	2,636,000	1,263,393	1,372,607	
旅費	5,000		5,000	1,760	3,240	
消耗品費	362,000		362,000	784,903	△ 422,903	
会議贈い費	0		0	14,679	△ 14,679	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	220,000		220,000	246,214	△ 26,214	電話料金、郵送代 他
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	8,400	△ 8,400	
その他			0		0	
備品購入費	1,881,000		1,881,000		1,881,000	多目的ホール椅子入替
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	17,000		17,000	9,028	7,972	
職員等研修費	13,000		13,000	2,840	10,160	研修に伴う交通費
振込手数料	1,000		1,000	880	120	
リース料	131,000		131,000	146,308	△ 15,308	AEDリース、複合機リース代 他
手数料	4,000		4,000		4,000	残高証明書代
地域協力費	2,000		2,000		2,000	
その他			0	48,381	△ 48,381	パソコンソフト等保守、コピーカウンター料金
事業費	320,000	0	320,000	160,515	159,485	
運営協議会経費	10,000		10,000		10,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	308,000		308,000	160,515	147,485	
その他	2,000		2,000		2,000	
管理費	5,590,000	0	5,590,000	5,238,468	351,532	
光熱水費	3,353,000		3,353,000	3,392,722	△ 39,722	
清掃費	197,000		197,000	233,103	△ 36,103	
機械警備費	71,000		71,000	75,333	△ 4,333	
設備保全費	1,844,000	0	1,844,000	1,524,516	319,484	
空調衛生設備保守	346,000		346,000	346,002	△ 2	
消防設備保守	88,000		88,000	87,596	404	
電気設備保守	82,000		82,000	82,224	△ 224	
害虫駆除清掃保守	36,000		36,000	36,012	△ 12	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	1,292,000		1,292,000	972,682	319,318	
共益費	0		0		0	
その他	125,000		125,000	12,794	112,206	
修繕費	7,000		7,000	485,815	△ 478,815	予算：指定額
公租公課	1,250,000	0	1,250,000	1,044,970	205,030	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,240,000		1,240,000	1,044,970	195,030	
印紙税	5,000		5,000		5,000	
その他	5,000		5,000		5,000	
その他	0		0		0	
支出合計	23,036,000	0	23,036,000	20,519,744	2,516,256	
差引	△ 1,362,859	0	△ 1,362,859	83,162	△ 1,446,021	

自主事業費 収入	0	0	0	9,800	△ 9,800	
自主事業費 支出	308,000	0	308,000	160,515	147,485	
自主事業 収支	△ 308,000	0	△ 308,000	△ 150,715	△ 157,285	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	8,400	△ 8,400	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	8,400	△ 8,400	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**【参考資料2-2】 令和7年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	42,435,985		42,435,985	43,985,985	△ 1,550,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,033,137		6,033,137	6,593,137	△ 560,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			△ 1,015,000		△ 1,015,000	
雑入	1,159,000	0	1,159,000	0	1,159,000	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
介護保険事業より繰入	1,159,000	0	1,159,000	0	1,159,000	
その他	△ 1,015,000		△ 1,015,000	△ 420,000	△ 595,000	協力医展入
収入合計	48,967,122	0	48,967,122	50,513,122	△ 1,546,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	40,627,000	0	40,627,000	44,266,179	△ 3,639,179	包括・生活支援人件費
本俸	30,723,000		30,723,000	36,908,622	△ 6,185,622	
社会保険料	4,323,000		4,323,000	6,057,670	△ 1,734,670	
手当計	5,497,000		5,497,000	502,248	4,994,752	
健康診断費	7,000		7,000	43,282	△ 36,282	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	55,000		55,000	707,582	△ 652,582	
その他	22,000		22,000	46,775	△ 24,775	
事務費	1,475,000	0	1,475,000	1,236,451	238,549	
旅費	4,000		4,000	4,887	△ 887	
消耗品費	709,000		709,000	422,372	286,628	
会議購い費			0		0	
印刷製本費	52,000		52,000		52,000	
通信費	449,000		449,000	399,746	49,254	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	0	0	会議用Webカメラ
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	37,000		37,000	18,056	18,944	
職員等研修費	51,000		51,000	55,594	△ 4,594	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	168,000		168,000	261,803	△ 93,803	AEDリース、複合機リース代 他
手数料	4,000		4,000	33,063	△ 29,063	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	40,930	△ 40,930	コピーカウンター料・ソフト他保守料・会費等
事業費	963,000	0	963,000	568,241	394,759	
協力医	252,000		252,000	210,000	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	433,000		433,000	3,079	429,921	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	146,000		146,000	154,000	△ 8,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	132,000		132,000	8,000	124,000	
その他			0	193,162	△ 193,162	
管理費	1,459,000	0	1,459,000	1,392,494	66,506	
光熱水費	890,000		890,000	901,862	△ 11,862	
清掃費	52,000		52,000	61,961	△ 9,961	
機械整備費	19,000		19,000	20,024	△ 1,024	
設備保全費	498,000	0	498,000	405,241	92,759	
空調衛生設備保守	111,000		111,000	91,974	19,026	
消防設備保守	23,000		23,000	23,284	△ 284	
電気設備保守	22,000		22,000	21,856	144	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	9,572	428	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	332,000		332,000	258,555	73,445	
共益費	0		0	0	0	
その他			0	3,406	△ 3,406	
修繕費	2,000		2,000	126,000	△ 124,000	
公租公課	2,935,000	0	2,935,000	2,209,579	725,421	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	2,930,000		2,930,000	2,209,579	720,421	
印紙税	1,000		1,000	0	1,000	
その他	4,000		4,000		4,000	
その他	0		0	0	0	
支出合計	47,461,000	0	47,461,000	49,798,944	△ 2,337,944	
差引	1,506,122	0	1,506,122	714,178	791,944	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	711,000	0	711,000	358,241	352,759	
自主事業 収支	△ 711,000	0	△ 711,000	△ 358,241	△ 352,759	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 横浜市不老町地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名: 横浜市不老町地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,553	15,071	-518	17,046	18,036	-990	13,833	14,610	-777	92,086	98,082	-5,996	7,033	4,480	2,553
	その他	0	0	0	0	0	0	173	399	-226	110	2,416	-2,306	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受託収入	0	0	0	0	0	0	173	278	-105			0	0	0	0
	受取利息配当金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	331	-221	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	-24	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	21	-21	0	44	-44	0	0	0
	その他(補助金収入 等)	0	0	0	0	0	0		100	-100	0	2,017	-2,017	0	0	0
	収入合計(A)	14,553	15,071	-518	17,046	18,036	-990	14,006	15,009	-1,003	92,196	100,498	-8,302	7,033	4,480	2,553
支出	人件費	0	0	0	0	0	0	10,790	17,351	-6,561	64,669	62,886	1,783	0	0	0
	事務費	0	0	0	0	0	0	915	851	64	2,209	2,128	81	0	0	0
	事業費	0	0	0	0	0	0		7	-7	9,155	9,575	-420	0	0	0
	管理費	0		0	0	0	0	343		343	12,681	15,135	-2,454	0	0	0
	その他	12,194	12,502	-308	13,946	14,733	-787	0	171	-171	100	7,258	-7,158	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	消費税(租税公課)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	1,208	-1,108	0	0	0
	介護予防プラン委託料	12,194	12,502	-308	13,946	14,733	-787	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	171	-171		610	-610	0	0	0
	雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	土地・建物賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,440	-5,440	0	0	0
	支出合計(B)	12,194	12,502	-308	13,946	14,733	-787	12,048	18,380	-6,332	88,814	96,982	-8,168	0	0	0
収支 (A)－(B)		2,359	2,569	-210	3,100	3,303	-203	1,958	-3,371	5,329	3,382	3,516	-134	7,033	4,480	2,553

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	あったかサロン	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	「全世代まるごと支援」を掲げ地域の皆さんが気軽に集うことのできるフリースペースとして開催。職種・部門を問わず連携し、事業実施できる場として活用する。	5:地域		・不定期第4木曜日13:30～15:00(変動あり) ・無料(フリードリンク中止)(材料費負担あり) ・多職種連携(生活支援、包括)による講座等の開催 ・多世代、多文化交流、情報提供の機会 ・ボランティア活動機会の提供 ・貸館利用団体の活動発表	8	0	138	0
2	子育て支援「あのね」	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親子に交流の場の提供を行う。また、平成25年度より開始された子育て相談員による子育て相談も行う。子育て情報の提供や、子育てに関する講座等の開催も実施し、子育て中の支援を行っていく。	3:養育者及び乳幼児		・毎月第1、2、4、5月曜日10:00～12:00、14:00～15:30 ・無料 ・10:00～12:00子育て支援者による子育て相談「ぶっくりんこ」(祝日を除く) ・第2週PMおはなし会ちゅーりっぷ、第4週PM横浜山手読書会おはなし会	38	0	568	0
3	ママリフレッシュ	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	育児中の母親に対して、ヨガを取り入れた運動を通して、心身をほぐし体調を整えていくことを目的とする。 また交流・情報交換の場とする。	3:養育者及び乳幼児		・第4金曜日10:30～11:30 ・感染予防対策で定員5組(年度内8組まで拡大予定) ・講師によるおやこの触れ合い、ストレッチ、ヨガ ・参加費200円	12	0	78	0
4	ふーさんフードパントリー	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	こども食堂の協力で開催し、活動への理解や周知の機会とする。きっかけ作りや交流の場の機会提供を行う。 就B事業所と協力し当事者支援を行う。	5:地域		・年度内3回程 ・無料 ・こども食堂と共催 今年度からゼンショーグローバルファストホールディングスとも協力 ・地域作業所と協力し当事者支援 ・食支援団体やRCとの協働	3	0	210	0
5	第3回つながる！みんなフェス→今年度雨天中止	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・日ノ出川公園の周知、来館や利用のきっかけ作りとする。多世代・多文化交流機会創出も目指す。 また高齢者の外出機会、介護予防の啓発、中区地域福祉保健計画のPR、作業所、障がい当事者の活動機会・障がい理解の啓発等としても活用する。	5:地域		・5/10(土)10:30～13:00 ・共催：日ノ出川公園 ・会場：日ノ出川公園、manaby横浜関内南口事業所 ・協力：横浜エクセレンス、なか国際交流ラウンジ、ギッフェリ、ろばの家、manaby横浜関内南口事業所、日産神奈川販売株式会社、中区福祉保健課	0	0	0	0
6	第4回 埋地ミニ夏まつり	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・横浜武道館・横浜エクセレンス(バスケットチーム)・ケアプラザの周知機会、情報提供の機会創出。 ・地域住民へのスポーツの普及推進。地域資源としての連携、ネットワークの構築。 ・「多文化・多世代交流」、「出会い・体験」、「地域の賑わい創出」 ・SDGsに加え、R7年度は防災啓発、GREEN EXPOの周知	5:地域		・7/26(土)13:00～16:00 ・武道館で開催予定。 ・三者で合同共催 ・地域資源が一堂に会し、周知PR ・多文化、多世代交流など ・地域の方が自由に参加できるイベント	1	0	315	0
7	不老町地域ケアプラザ出張会	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが身近な相談窓口としてケアプラザを利用していただけるようになることを目的とします。	5:地域		・地域のサロンなどへケアプラザ職員が出向き、ケアプラザや介護保険の制度の説明、見守りキーホルダーの登録会などを不定期に開催 ・5月30日 第一地区中部 保活、地域住民 ・10月24日青葉会 最近の詐欺の手口について ・11月11日ほっと石打・地域住民「認知症世界の歩き方」講座(チームオレンジ) ・11月13日 暮らしの豆学 認知症について ・11月25日 ともえ会 ケアプラザ・終活について 3月27日 青葉会 消費者被害防止講座「けいやくのきりふだ」	6	11	82	0
8	脳トレ なんじゃもんじゃ	令和7年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	高齢者の開催希望と自主的な活動に繋げるため、伴奏的な活動支援として共催で開催。高齢者の居場所と参加者との交流の場として開催する。	1:高齢者		月1回 第2金曜日 13:30～15:00 脳トレのプリントを行う。終了後に振り返りを行う。数か月に1回はプリント以外に体を動かしながらの脳トレの企画を盛り込む予定。	7	0	122	0
9	今日からはじめるフレイル予防講座(健康教育・出前講座)	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域高齢者がフレイルについて理解を深め、予防法を学ぶ事が出来るようになること、エリアが広範囲のため、ケアプラザまで来館することが難しい方が多い。多くの方に参加していただくことを目的としています。	1:高齢者		・地域開催のサロン・老人会などに出張し、包括看護職や講師(栄養士・運動指導士・歯科衛生士など)によるフレイル予防講座 ・年数回開催予定 7月18日、8月19日、10月10日、11月13日、1月7日、3月22日	6	0	117	0
10	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和7年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	フレイル・口腔講座 メイクアップ・スキンケアを通じて心・脳・身体・口腔へアプローチをはかりフレイル予防を目的とします。	1:高齢者		・会場：不老町地域ケアプラザ ・資生堂ジャパン協力 ・4月24日	1	0	16	0
11	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和7年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	フレイル予防講座(口腔・体操) 笑いを通じてフレイル予防。社会参加と生きがいづくりを目的とします。	1:高齢者		・会場：不老町地域ケアプラザ ・ラフターヨガインストラクターによる講座 ・2月26日	1	0	16	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施 回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
12	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和7年度	4:共催(1と2)	1:優先的に 取り組み	フレイル栄養講座 いつまでも楽しく食事をしてもらうための 栄養講座。多くの方に参加してもらうこと を目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ多目的ホー ル ・企業(にんべん)協力 ・6月26日	1	0	18	0
13	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和7年度	4:共催(1と2)	1:優先的に 取り組み	フレイル・栄養講座 多世代、多文化交流をはかりフレイル予 防を目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・開催時未定→講師予定企業都合により 中止	0	0	0	0
14	元気チェックの日	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	地域高齢者が測定会などを通じ身近にフ レイル予防を感じてもらうことやフレイル 予防の普及啓発を目的としています	1:高齢者		・不老町地域ケアプラザや地域のサロン などで開催(出張) ・測定会や健康相談、体操講座などを実 施 ・健康づくりサポーターと一緒に活動 ・開催不定期 ・4月15日 ・9月25日 ・2 月17日 ・健康づくりサポーター交流会 2月6日	4	0	44	0
15	いきいきスマイル塾 (介護予防教室等)	令和3年度	2:地域包括 支援セン ター運営事 業	1:優先的に 取り組み	地域の高齢者が定期的に外出し機会を作 り、自らが継続的に介護予防の活動に取 り組むことを目的とします。	1:高齢者		・介護予防教室 ・地域指導者によるコグニサイズを中心と した体操 ・年5回 ①5月20日②7月15日③9月11日 ④11月18日⑤1月20日	5	0	66	0
16	認知症サポーター養成講座	令和元年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	認知症になっても住み慣れた地域で暮ら せるよう地域の方に認知症の正しい理解 について講座をおこない、認知症サポー ターを養成する。	5:地域		・年に2回、地域にて認知症サポーター養 成講座を実施 9月27日、10月19日	2	0	28	0
17	在宅介護者のつどい	平成25年度	2:地域包括 支援セン ター運営事 業	1:優先的に 取り組み	高齢者虐待を未然に防ぐため、養護者の ストレス軽減や適切な介護の知識が得ら れる場をつくり介護者の負担軽減を図る 目的で開催する。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ(年4回開 催予定) ・介護者同士で悩みを共有しストレス軽減 や気分転換、介護経験者からのアドバイ スが受けられる(茶話会形式)	4	0	17	0
18	元気なうちに備えましょうネ 連続終活講座	令和6年度	2:地域包括 支援セン ター運営事 業	1:優先的に 取り組み	サポートネット担当の士業等と連携し成年 後見制度をはじめとした終活講座を開催 し、自分のことを自分で考えて行動を起こ せるうちに将来のことを考えていただく きっかけとする。複数会場でサテライト配 信を行うことにより、CPまで遠くで来られ ない方でも受けていただける取り組みをお こなう。	5:地域		本会場:10月不老町CP 12月新山下CP 2月養沢CP サテライト会場:中区社協 他	3	2	71	30
19	終活講座 「老後のマネープラン」	令和7年度	2:地域包括 支援セン ター運営事 業	1:優先的に 取り組み	生活支援課 生活困窮自立支援担当と連 携し、家計相談の観点から今後の生活資 金の計画など、将来のことを考えていた くことを目的とする。	5:地域		7月実施予定。	1	0	17	0
20	キャラバンメイト連絡会	令和1年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	地域のキャラバンメイトと連携し、地域で 認知症サポーター養成講座を実施するこ とで認知症になっても安心して暮らせるま ちづくりを目指す。	5:地域		・不定期にキャラバンメイト連絡会を開催 し講座の企画、情報共有をおこなう。	1	0	4	0
21	認知症サポーター養成講座	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	認知症になっても住み慣れた地域で暮ら せるよう地域の方に認知症の正しい理解 について講座をおこない、認知症サポー ターを養成する。(CPまで来れない地域住 民を対象に)	5:地域		・野毛地区センター共催事業として開催(3 回) 9月16日、12月16日	2	0	21	0
22	おにぎりカフェ	令和5年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	夏休み・冬休みの等の長期休暇中、学校 給食がないため、食支援の一環として企 画。また、孤食防止、自宅でも自分で食の 準備が出来る様、おにぎりを作る機会と して設定、家族、学校以外の大人と関わる 場所の提供。	4:子ども・青 少年		・第1回:夏休み中 ・第2回:冬休み中 ・主催:みなとこども食堂 ・協力:不老町地域ケアプラザ、児童家庭 支援センターみなと・ゼンショーグローバ ルファストホールディングス	2	0	39	0
23	日ノ出川公園クリスマスイルミ ネーション	令和7年度	5:共催(1と3)	1:優先的に 取り組み	①地域のつながりの強化②子ども達の 思い出作り③地域福祉・経済への貢献④ 安全で楽しい公共空間の創出⑤地域の 魅力の創出	5:地域	5	公園内の木や設備にLEDの発光体を取り 付け飾る。キッチンカーや大学生のボラン ティアを招きお互いのメリットに繋がるよ うな内容での開催を目指す。普段より自治 会・町内会と関連が稀薄な住民に町内会 の存在を知ってもらう機会になるように取 り組む	1	0	200	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（１と２） 5：共催（１と３） 6：共催（２と３） 7：共催（１と２と３）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施 回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
24	みかんの木	令和7年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	チームオレンジの一つの活動として認知症について、地域住民が地域に対して啓発することを目的にチームを形成して活動する。メンバーになってもらう方は地域住民を中心に依頼。	5:地域	5	・令和7年11月より開始 ・認知症啓発の活動として、サポーター養成講座や地域イベントに啓発ブースを設置してPRを行う予定。 ・月1回集まり練習や打合せを行う	3	0	19	0
25	第3回チャレンジ！まちピカ	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・ボランティア活動団体の活動機会、活動PR。 ・親子、子どもがまちを知る機会、清掃活動に参加する機会を創出。 ・多世代交流、様々な関係機関の関係性構築を目指す。	5:地域		・11/8(土) ・主催:YNBS、協力:横浜エクセレンス、就労移行支援事業所ミライエ横浜関内、CP(今回はNPO法人海さくらとも協力LITO活動とのコラボも実施。) ・CP～横浜武道館～日ノ出川公園の清掃を実施。	1	0	7	0
26	おやこで食育	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・中区ヘルスメイトの活動、啓発機会 ・親子の交流、情報提供、情報交換 ・食育の機会(中区ヘルスメイトによる講義、試食、試飲)(中区栄養士による講義) ・CP、のんびりんこの広場周知	3:養育者及び乳幼児		・10/31(金) ・ヘルスメイト、栄養士による講義＆ベジチェック ・お出汁の試飲、レンチンレシピと炊き込みご飯の試食 ・のんびりんこによるお楽しみ ・質疑応答、交流、情報提供	1	0	9	0
27	福祉教育(日枝小学校)	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもの頃から福祉について学ぶ機会を設ける。高齢者疑似体験の講座を通し、身近に感じる機会を創るとともに福祉の仕事やケアプラザを知る足がかりとする。	4:子ども・青少年		日時:11/11(火)9:30～12:05 会場:日枝小学校体育館 内容:福祉のしごとについて、高齢者疑似体験 対象:6年生	1	0	79	0
28	ケアマネジャー研修 STさん!に聞く「看取りと食支援」	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・地域で活動のケアマネジャーの資質向上と多職種連携、医療連携の視点の充実。	6:事業者		・令和8年3月25日 ・講師に言語聴覚作業療法士・看護師による在宅看取りに特化した専門研修	1	0	24	1
29	UR コミュニティ共催 モアレのお茶会「防災講話&口腔ケア」	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	URコミュニティと共催地域の高齢者の介護予防、防災を目指す。	1:高齢者		・令和8年1月7日 ・URコミュニティ管理会社と包括看護師による講話の開催(モアレのい茶会にて)	1	0	15	0
30	manaby小学生向け動画編集体験会	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	事業所の強みであるPCスキルを活用し、地域貢献を叶える。会場を事業所に設定することで、参加者に事業所PRを行う。小学生をメインの対象とし、保護者同伴とすることで、障がいの理解啓発促進を狙う。	5:地域		・主催:就労移行支援事業所manaby横浜関内南口事業所 ・2/14(土)10:30～12:00 昨年度までのプログラミング体験会の内容を活かし始めて動画編集体験会を実施。	1	0	10	0
31	ほほえみがえし 発行回数記載 配布数計上記載なし	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知、情報発信を主な目的として広報誌を発行、配架する。各部署からのトピックを掲載。事業案内も行う。	5:地域		・年6回 奇数月発行 ・広報 ・地福計画のPR企画に不随する事業として実施	6	0	6	0
32	出張のんびりんこ 親子であそぼう 子育てサロンあのね特別バージョンⅦ	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域資源である横浜武道館とケアプラザの周知を主な目的とする。のんびりんこ利用者でもケアプラザをしたことがない方にアプローチする。武道館見学ツアーとプログラムを抱き合わせ、情報提供や交流の場を創出。武道館も参加し、PRのためにアイディア提供をしてもらう。	3:養育者及び乳幼児		・5/26(月)14:00～15:30 ・会場:不老町地域ケアプラザ・横浜武道館 ・共催:のんびりんこ、横浜武道館 ・子育てサロン会場PR ・横浜武道館見学ツアー ・各施設からの情報提供とPR ・親子のふれあい、静動プログラム	1	0	14	0